

〔 2 〕 水泳競技

1 期 日 平成18年10月1日(日)から7日(土)まで(7日間)

競泳日程

種 別	10月1日(日)	10月2日(月)	10月3日(火)	10月4日(水)	
成年男子	成 年		予選	予選・決勝	決勝
	30歳以上	予選	予選・決勝	決勝	
成 年 女 子			予選	予選・決勝	決勝
少年男子	少年男子A	予選	予選・決勝	決勝	
	少年男子B				
少年女子	少年女子A		予選	予選・決勝	決勝
	少年女子B				

飛込日程(内は順序)

種 別	10月5日(木)	10月6日(金)	10月7日(土)
成年男子		飛板飛込決勝	高飛込決勝
成年女子	高飛込決勝		飛板飛込決勝
少年男子	飛板飛込決勝	高飛込決勝	
少年女子	高飛込決勝	飛板飛込決勝	

水球日程

種 別	10月1日(日)	10月2日(月)	10月3日(火)	10月4日(水)
少年男子	ブロック別 予選トーナメント (8試合)	準決勝リーグ (6試合)	準決勝リーグ (6試合)	順位決定戦 (4試合)

シンクロナイズドスイミング日程

種 別	10月5日(木)	10月6日(金)
少 年 女 子	テクニカルルーティン競技	フリールーティン競技

2 会 場 尼崎市(競泳・シンクロナイズドスイミング)

尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設(尼崎スポーツの森)

神戸市(飛込・水球)

神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

3 種別（種目）及び参加人員

競泳

(1) 各都道府県は、監督3名、選手51名（男子選手は31名以内、女子選手は29名以内）計54名以内で編成。種別、種目及び参加数は下表のとおりとする。

ア 男子（31名以内）

種別	種目	共通種目 (混合リレー 200m)	種目数		1種目の 参加数	種別など の参加数
成年	自由形100m、平泳ぎ100m、 バタフライ100m、背泳ぎ100m、 個人メドレー200m、リレー200m、 メドレーリレー400m	50m × 1	8 (含む混合 リレー)	29	2名以内	10名以内
	自由形50m、平泳ぎ50m、 バタフライ50m、背泳ぎ50m、 メドレーリレー200m	50m × 1	5		1名以内	4名以内
少年	A 自由形100m、自由形400m、 平泳ぎ200m、バタフライ200m、 背泳ぎ200m、個人メドレー400m、 リレー800m、メドレーリレー400m	50m × 1	8	24	2名以内	12名以内
	B 自由形100m、自由形400m、 平泳ぎ200m、バタフライ200m、 背泳ぎ200m、個人メドレー400m、 リレー400m、メドレーリレー400m	50m × 1	8		1名以内	7名以内

イ 女子（29名以内）

種別	種目	共通種目 (混合リレー 200m)	種目数		1種目の 参加数	種別など の参加数
成年	自由形100m、平泳ぎ100m、 バタフライ100m、背泳ぎ100m、 個人メドレー200m、リレー200m、 メドレーリレー400m	50m × 1	8 (含む混合 リレー)	24	1名以内	7名以内
少年	A 自由形100m、自由形400m、 平泳ぎ200m、バタフライ100m、 背泳ぎ100m、個人メドレー200m、 リレー400m、メドレーリレー400m	50m × 2	8		2名以内	12名以内
	B 自由形100m、自由形400m、 平泳ぎ100m、バタフライ100m、 背泳ぎ100m、個人メドレー200m、 リレー200m、メドレーリレー400m	50m × 1	8		2名以内	12名以内

(2) 各都道府県の参加は、前記のほか、次の出場制限によるものとする。

ア 同一人の出場は、2種目（リレーを除く。）以内とする。

イ 成年男子成年には、30歳以上の者も参加できる。その場合、成年男子30歳以上には出場できない。

ウ 少年Aには、中学3年生を除く少年Bの者も参加できる。その場合、少年Bには出場できない。

飛込

種別	種目	内容	種目数	監督	選手	参加都道府県	計
成年男子	飛板飛込	自由選択飛6演技(各群より)	2	1	6	47	329
	高飛込	自由選択飛6演技(各群より)					
成年女子	飛板飛込	自由選択飛5演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛5演技(異群より)					
少年男子	飛板飛込	自由選択飛6演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛6演技(各群より)					
少年女子	飛板飛込	自由選択飛5演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛5演技(異群より)					

(注) 各都道府県の参加は各種目1名とする。なお、1名は2種目(飛板飛込、高飛込)にエントリーすることができる。ただし、最大エントリー数は、1都道府県6名までとする。

水球

種別	監督	選手	参加都道府県	計
少年男子	1	13	16	224

シンクロナイズドスイミング

種別	種目	監督	選手	参加都道府県	計
少年女子	デュエット	1	2	21	63

4 競技上の規定及び方法

競泳

(財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

飛込

(財)日本水泳連盟飛込競技規則による。但し、各競技種目とも決勝のみ行う。

水球

(財)日本水泳連盟水球競技規則によるもののほか、次による。

(1) 予選トーナメント

ア 予選1回戦は参加16チームのトーナメント方式により試合を行い、勝利を得た8チームが準決勝リーグに進出する。

イ 同点の場合は、V-Goal方式の延長戦により勝者を決定する。

(2) 準決勝リーグ

ア 8チームをA、B、2つのブロックに分け、4チームずつのリーグ戦を行う。

イ 勝ち点制とし、勝者に2点、敗者に0点、引き分けは両者に1点ずつ与え、合計得点の多い方を上位とする。

ウ 2チームの勝ち点が同点の場合、当該チームの対戦で勝利を収めているチームを上位とする。当該チームが引き分けている場合、及び3チーム以上が同じ勝ち点の場合は、以下の順序で順位を決定する。

- ・ 準決勝リーグにおける得失点差(総得点 - 総失点)の多い方を上位とする。

- ・ 得失点差が同じ場合は、総得点の多い方を上位とする。
- ・ 総得点と同じ場合は、抽選により上位を決定する。なお、抽選方法は、最初に予備抽選を行い、数字の若いチームより封筒を引き、 の入った封筒を引いたチームを勝者とする。
- ・ 棄権は、相手チームの10 - 0の勝利とする。

(3) 順位決定戦

ア A、B、各ブロックの同一順位チームの対戦により、勝者を決定する。

イ 引き分けがあった場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(4) シード

前回の国体水球競技第1位から第4位の都道府県をシードチームとする。

(5) 試合時間

試合時間	第1ピリオド	休憩	第2ピリオド	休憩	第3ピリオド	休憩	第4ピリオド
	8分	2分	8分	5分	8分	2分	8分

シンクロナイズドスイミング

(財)日本水泳連盟シンクロナイズドスイミング競技規則による。

5 予選方法

競泳、飛込

各都道府県は、都道府県大会を実施し、本大会代表を選考する。

水球

- (1) 各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する代表チームを決定する。
- (2) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	出場チーム	ブロック名	出場チーム
北海道	1	近畿	2
東北		中国	2
関東	3	四国	1
北信越	2	九州	3
東海	1	開催地	1

シンクロナイズドスイミング

- (1) 各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する代表チームを決定する。
- (2) ブロック大会はテクニカルルーティン、フリールーティンを実施し、下表のとおり区分により代表チームを決定する。

ブロック名	出場チーム	ブロック名	出場チーム
北海道	1	近畿	3
東北	2	中国	3
関東	4		
北信越	3	九州	2
東海	2	開催地	1

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか次による。

(1) 選手は、(財)日本水泳連盟登録者であること。

なお、未登録の者が本競技会に参加するためには、国体予選出場のため当該都道府県選手として一時登録が認められた者とする。ただし、いずれも該当しない者は審査の上、決定する。

(2) 少年種別の所属

生徒（高等専門学校を含む）は学校所在地から参加する。

生徒以外の少年は、居住地を示す現住所の都道府県からそれぞれ参加する。

生徒は、第1学年を除き在学1年未満の者は参加できない。また種別を問わず、同一学年での参加は1回とする。

(3) 成年種別の所属

学生は卒業高校所在地（高校を卒業していない者は卒業中学校所在地）から「ふるさと選手制度」を活用し参加する。

学生以外の成年は、居住地を示す現住所、勤務地、「ふるさと」のいずれかが属する都道府県を選択することができる。

(4) 選手の年齢基準

ア 競泳の成年男子30歳以上に参加する選手は、昭和51年4月1日以前に生まれた者。

イ 競泳の成年男子成年、成年女子及び飛込の成年に参加する選手は、昭和63年4月1日以前に生まれた者。

ウ 競泳の少年A、水球、飛込の少年及びシンクロナイズドスイミングに参加する選手は、昭和63年4月2日以降、平成3年4月1日までに生まれた者。

エ 競泳の少年Bに参加する選手は、平成2年4月2日以降、平成4年4月1日までに生まれた者。

(5) 競泳は、2006年4月1日以降の公式競技会または公認競技会において、(財)日本水泳連盟の定める標準記録を突破した者は、その種目に限り申込みができる。また、標準記録を突破できない場合でも、男女各4名計8名までは参加できる。

(6) 水球のブロック大会及び本大会の参加チームは、都道府県予選会終了後、都道府県体育協会が代表と認めた混成、単独いずれのチームでもよい。

(7) 監督は、原則として財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ、公認水泳上級コーチ、公認水泳教師、公認水泳上級教師、あるいは公認水泳指導員、公認水泳上級指導員のいずれかの資格を有する者とする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第1位から第8位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点の種類

ア 種別などに与える競技得点

水 球（少年男子）

シンクロナイズドスイミング（少年女子）

イ 種目などに与える競技得点

競 泳（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）

飛 込（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）

(2) 競技得点

天皇杯対象種別など		皇后杯対象種別など		競 技 得 点
競 泳	成年男子 成年女子	競 泳	成年女子	各種目（リレーを含む。）とも1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。
飛 込	少年男子 少年女子	飛 込	少年女子	
水 球	少年男子	—————		1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。
シス ンクイ ロミ ナ イズ ドグ	少年女子	シス ンクイ ロミ ナ イズ ドグ	少年女子	1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。

(3) 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目（競泳・飛込）及び種別（水球・シンクロナイズドスイミング）の第1位から第8位までに、賞状を授与する。種別では、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と当該個人名を記載したものをチーム全員に授与する。

9 参加申込方法

- (1) 所定の参加申込ファイルへ必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成18年8月24日(木)までに(財)日本体育協会へ提出（アップロード）すること。
- (2) 締切期限以降は参加申込ファイルの提出が受け付けられなくなるので、締切期限を厳守す

ること。

(3) 注意

ア 選手の氏名等の個人情報は平成18年度において(財)日本水泳連盟に登録した情報と同じものであること。

イ リレーの申込は4名とする。ただし、競技の際は、同じ種別内の個人種目または他のリレーに出場する者に交代することができる。

ウ 混合リレーの男子は、成年男子成年、30歳以上、少年男子A及びBよりそれぞれ1名ずつ出場すること。また、女子は成年女子1名、少年女子A2名、少年女子B1名が出場すること。

エ 飛込は、飛込演技種目申込用紙及び計算用紙(規定の用紙)に自分が行おうとする飛込演技の番号、名称、型、飛板または台の高さ、難易率を記入して、出場する当該種目の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドにある「飛込演技種目申込箱」に投函すること。

オ 水球の本大会への申込選手登録番号は、試合におけるメンバー表の番号と同一であること。(GKをNo.1に、またキャプテンのNo.に印を添付すること。)

カ シンクロナイズドスイミングのテクニカルルーティン用紙及びフリールーティン用紙は、参加申込(アップロード)と同時に下記に送付する。また、ブロック大会のプログラム及び記録は、下記に送付する。

使用するテープ(30分~46分)またはCD、またはMDは各自持参する。それぞれの最初に録音し、都道府県名、氏名を記入する。

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(財)日本水泳連盟

03-3481-2306 FAX 03-3481-0942

〒661-0013 兵庫県尼崎市栗山町2丁目24-2

のじぎく兵庫国体尼崎市実行委員会事務局

TEL 06-6423-3406 FAX 06-6423-3409

(4) 参加申込締切り(8月24日(木))後の選手変更は、一切認めない。ただし、疾病、傷害等特別な場合に限り、シンクロナイズドスイミングの予備登録選手の交代を認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期日 監督会議まで

イ 提出先 (財)日本水泳連盟

なお、(財)日本体育協会に対しては、上記への提出後、別途、所定のファイルにより提出(アップロード)すること。

10 その他

(1) プログラム編成

日時 平成18年8月26日(土)~28日(月)

場所 尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設(尼崎スポーツの森) 会議室

〒660-0096 尼崎市扇町14-1

(2) 組合せ抽選会

(飛込) 日時 平成18年8月25日(金) 午前11時
場所 岸記念体育会館 会議室
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
TEL 03-3481-2306

(水球) 日時 平成18年8月25日(金) 午前10時
場所 岸記念体育会館 会議室
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
TEL 03-3481-2306

(シンクロナイズドスイミング)

日時 平成18年8月25日(金) 正午
場所 岸記念体育会館 会議室
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
TEL 03-3481-2306

(3) 監督会議

(競泳)

日時 平成18年9月30日(土) 午後3時
場所 ホテルニューアルカイク
〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-1
TEL 06-6488-7777

(飛込)

日時 平成18年10月4日(水) 午後4時
場所 神戸国際会議場
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL 078-302-5200

(水球)

日時 平成18年9月30日(土) 午後3時
場所 神戸国際展示場
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-11-1
TEL 078-302-1020

(シンクロナイズドスイミング)

日時 平成18年10月4日(水) 午後3時
場所 尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設(尼崎スポーツの森)会議室
〒660-0096 尼崎市扇町14-1

(4) 練習時間については、会場地実行委員会事務局に問い合わせること。

(競泳・シンクロナイズドスイミング)

〒661-0013 兵庫県尼崎市栗山町2丁目24-2
のじぎく兵庫国体尼崎市実行委員会事務局
TEL 06-6423-3406 FAX 06-6423-3409

(飛込・水球)

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
第61回国民体育大会神戸市実行委員会事務局
TEL 078-322-6541 FAX 078-322-6141